

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他飲食〔サービス エリア内レストラン〕 （支配人）	・ 今後は夏休みから9月の5連休と、好条件がそろっている。
	やや良くなる	一般小売店〔紙類〕 （経営者）	・ 高速道路料金引下げがお盆期間にも実施され、こちらに期待できるので景気が上向いていく。
		百貨店（販売促進担当）	・ 徐々にではあるが、売上高回復の兆しが見えている。景気全体にも回復の兆しが見えてきたと思われるので、今後に期待できる。
		スーパー（店長）	・ 販売件数、客単価ともに前年をわずかがだがクリアできるようになってきた。これから先には更に上回ることも期待できる。
		スーパー（総務担当）	・ 商品単価の下落は今後も続きそうだが、買上点数が少し伸びて、客単価がわずかではあるが前年を上回る日が多くなってきており、この傾向が続けば良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・ ここ数か月の悪い状況はこれ以上続かない。したがって少し良くなる。
		衣料品専門店（店長）	・ 1品単価は下がっているものの、ボーナスシーズンのせいもあるかもしれないが、来客数と買上点数は増加しており、財布のひもがやや緩んでいく。
		家電量販店（店長）	・ エコポイントは我々にとって追い風なので、これを最大限活用して夏商戦を勝ち抜くことができれば、現状を少しでも改善できる。
		家電量販店（店長）	・ エコポイント制度が、ボーナス商戦へ良い影響を与える。特に地上デジタル放送対応の薄型テレビは大いに期待が持てる。
		乗用車販売店（営業担当）	・ ハイブリッド商戦に拍車が掛かり、各メーカーから新型車が続々と発表され、それによって客の購入意欲も増加していく。
		その他専門店〔布地〕 （経営者）	・ 客と話をしていると、少しずつ明るい話が出るようになってきた。
		都市型ホテル（従業員）	・ 企業関係者から、下期から景気が好転するという声が聞こえてくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 高速道路料金引下げのおかげで、週末の宿泊が以前より早く予約が入り始めた。
		通信会社（企画担当）	・ 以前は地方都市の雰囲気は全く沈滞していたが、最近は様々なイベントによって空気を少しでも浮揚させようという動きがある。
テーマパーク（業務担当）	・ 来客数増の傾向が続くことを踏まえて、これから行催事、広報を展開していく。		
住宅販売会社（経理担当）	・ 長期優良住宅や環境に配慮した住宅には国からの支援もあるため、客が興味を示せば売上が期待できる。ただし限定的で対象者も絞られるため、長続きはしない。		
変わらない	商店街（代表者）	・ 空き店舗問い合わせ、新規店舗開店など、これから現状を好転させるような要因が、今のところ見当たらない。	
	商店街（代表者）	・ 客や出入りの業者からは良い話は聞かれない。テレビなどでは景気が底打ち等の報道をされているが、実態では決してそんなものではない。ただし以前ほどの悪い話はない。	
	一般小売店〔酒店〕 （経営者）	・ 景気は最悪の状態を脱したといわれているが、まだその実感に乏しく、今の悪い状態が続く。	
	一般小売店〔印章〕 （営業担当）	・ 今月は売上が持ち直しているが、企業設立などによる注文はまだ低調である。この状態では、これからも例年の売上は望めそうもない。	
	百貨店（営業担当）	・ 家電製品はエコポイント制度で動くだろうが、衣料品については売り出し、クリアランスとも期待できない。	
	百貨店（営業担当）	・ 給与やボーナスのカットや社会保障制度への不安など、経済を取り巻く環境は最悪の状況であり、消費の回復は期待できない。	
	百貨店（営業担当）	・ セールの売上や、秋物商材の立ち上がりの状況を見ないとわからないが、大きく売上が回復するような理由が見当たらない。	
	百貨店（販売促進担当）	・ 7月から夏のセールが始まるが、アパレル業界の生産調整もあって十分な商品確保が難しい。9月上旬まで続くロングバーゲンになるが、大きな期待は掛けられない。	

百貨店（購買担当）	・今月は定額給付金やプレミアム付き商品券などで消費に追い風が吹いており、またクリアランスの前倒しなどによって順調に推移しているが、この反動が将来出てくる可能性がある。また冬物のヒットアイテムはまだ全く見えてきておらず、先行きは分からない。
スーパー（店長）	・所得が増える見込みのない現状では、客の低価格志向はまだまだ続き、景気が良くなる見込みは全くない。
スーパー（店長）	・感覚としては景気の回復を感じるが、客単価・来客数は依然として前年比90%程度であり、まだまだ厳しい状況が続く。
スーパー（管理担当）	・競合店出店により販売量の低下が続いている。低価格のプライベートブランド商品が売れ筋になってきているため、販売金額の増加も見込めない。
スーパー（経営企画）	・夏のボーナスも期待できないという声を良く聞く。また、事業を営んでいる人からは、自分の業種は不景気の波が遅れて来ているので、ボディブローのように効き始めており、これからが大変だという声が聞こえてくる。
コンビニ（エリア担当）	・朝だけだが、工事関係の客は相変わらずものを良く買っていく。この動きがこれからも続けば、今の状態が続く。
コンビニ（エリア担当）	・ここ3か月で見れば悪い材料もないが、良い材料もない。お中元についても3千円相当の商品が既に動いていて、今のところは例年と比べそう悪くはないし、ボーナスが減ったからといって食費を下げることもない。ただしヒット商品がないことから9月以降は厳しくなる。
衣料品専門店（販売促進担当）	・ここにきて主婦層が財布のひもを締めてきており、この流れでは、夏場は1万円以上の高額商品は苦戦する。
家電量販店（店員）	・エコポイントの影響で自分が担当している以外のテレビ、エアコン、冷蔵庫なども良くなっており、3か月後もこの勢いが持続する。
家電量販店（予算・企画担当）	・現在上向きとなっている状況のかなりの部分が、エコポイント制度によるものであり、年度内は一定の底上げ効果が期待できる。ただ、小物や雑貨などの売上は引き続き悪く、見通しは決して良くない。また、前年度後半から景気後退のためハードルが下がっているため、数字上は前年を上回って推移すると考えられるが、実態ベースでは現在とあまり変わらず、回復は緩やかなものになる。
乗用車販売店（経営者）	・企業は人件費も含めて、経費の節減に向けて懸命に取り組んでいる。政府の景気対策の効果も徐々に効果は出てくるとは思うが、しばらく我慢の時間が続く。もっとも今年後半から来年に向けては大いに期待している。
乗用車販売店（統括）	・実績が前年を上回ったのは、減税と補助金の影響が大きく、一過性のものである。
乗用車販売店（サービス担当）	・急激に良くなる要素がなく、このまま減税効果、補助金効果で推移していく。
乗用車販売店（統括）	・客との会話などから、旅行や耐久消費財などの購入の話を聞くので、レジャーや買物をする人は変わらない状況が続く。
自動車備品販売店（経営者）	・高額品の動きは良くなく、また洗車用品や小物等も必要以外は買わない傾向にあり、しばらくはこのような動きが続く。
高級レストラン（スタッフ）	・ここ3か月の予約状況は相変わらず厳しい一言で、その先は不透明である。
一般レストラン（店長）	・現在も客の節約志向が続いているため、これからも平日昼間の来客数の確保は難しい。
スナック（経営者）	・客の話には、今年一杯、年内は良くなるのではないかというものが圧倒的に多い。
都市型ホテル（総務担当）	・当地は10～11月の動きが大きいが、いまだに大きな動きが見受けられない。また、婚礼に関しても経費を必要最小限としており、景気による自粛傾向はまだまだ続いている。
タクシー運転手	・最後の週末がやや良く、この状態が続くことを願って「変わらない」とした。
タクシー運転手	・日中、生活の足として使う客は月を追うごとに減っている。法人関係も経費削減から利用を絞っており、また夜についても、企業は接待や会議などを控えており、やったとしても短時間で切上げているので、タクシーの利用は少なくなる。この状況は当分改善する見込みはない。
通信会社（社員）	・ボーナス時期での顧客申込等を期待しているが、現在のところあまり変動がない。ここ数か月での変動もあまりない。

	テーマパーク（管理担当）	・入館者の動向に、これからも変化がない。
	テーマパーク（広報担当）	・団体客の減少傾向は常に続いており、安心できない。近隣の旅館や、旅行会社は非常に厳しい状況である。
	美容室（経営者）	・今の好転している状況が続くと判断できるほど、甘い状態ではない。政府の景気対策もそれほどの効果は上がっていない。
	住宅販売会社（従業員）	・来場者数、来場者の反応を見ても、これから良くなる兆しはあまり見えてこない。
	住宅販売会社（販売担当）	・展示場イベント売出しへの来場者数が増えず、今後も2～3か月は受注が増えそうにない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・地元で新しく就職する口がなく、若者が県外に出て就職しており、長期的に見て良くならない。
	商店街（代表者）	・他の業種の人に聞いても非常に苦境に喘いでおり、より安く、より良い物を、より付加価値の高いものをという客の動きは更に鮮明になってくる。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	・取引先の大手の間屋が閉店するなど、業界が落ち着いていないようなので、しばらくは先行きは厳しい。
	百貨店（売場担当）	・晩夏から初秋にかけては無理に買わなくてもよいシーズンであり、ますます買い控えに拍車が掛かる。
	百貨店（販売担当）	・セール期間中は客の購買意欲は持続すると思うが、終わればまた買い控えられる状態に戻る。
	スーパー（店長）	・地元の大規模工場において、景気の回復の兆しが見えてこない。
	コンビニ（エリア担当）	・財布のひもは相変わらず固く、今後も続くと思われる。競合等の影響よりは、客自身の節約が更に節約に拍車を掛け、本当に必要なものしか買わなくなっている。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・他社も低価格の方針を打ち出しており、ますます競争が激化する。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・先行き不安から必需品しか買いにこず、それも低単価のものが選ばれる傾向が続く。高額品も出ないことはないがほんの一部で、これからも客単価の低下傾向は続く。
	乗用車販売店（店長）	・エコカー減税の効果も空しく、前年比70%を越えられない状態が続く。他メーカーのハイブリッド車の品薄状態を突いて展開したいところだが、客の目はハイブリッド車に向いており、苦しい状態が続く。
	乗用車販売店（販売担当）	・追加税制による補助金の先行きが不透明になりつつある。現在は補助金に間に合うとの前提で販売は好調であるが、今後は分からない。
	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・5月連休明けより、客の低価格志向が顕著になってきており、コンビニのディスカウント弁当もこれからの売上に大きく影響を及ぼす。
	観光型ホテル（経理総務担当）	・ボーナスカットなどの影響からか、繁忙月である8月の予約が芳しくない。定額給付金のホテル業界への恩恵は全くなく、高速道路料金引下げも3か月間の統計上、プラスになっていない。
	悪くなる	タクシー運転手
美容室（経営者）		・今まで経験したことがないような不景気が続いており、これだけ悪ければこれから簡単に戻るとは考えられない。
設計事務所（経営者）		・選挙を控えて、世の中どう動くかに関心が高まっている中、建築工事は様子見の状況で、もう少し動きが悪くなる。
商店街（代表者）		・夏休みになれば、高速道路料金引下げの影響がますます強くなる。
百貨店（売場担当）		・セールの前倒しが例年より更に激しくなっており、客は最初から均一価格で訴求する傾向が強くなるため、客単価は上がらず、クリアランス本番の売上は増加しない。
スーパー（店長）		・製造業関係の客が多く、工場もフル稼働になっていない状態である。稼働状態がいつから元通りになるのか全く分からない。
スーパー（財務担当）		・個人の収入は今後も減ることが予想され、個人消費はますます低迷する。
コンビニ（エリア担当）		・今後も、必要なものを、必要なだけしか購入しないという客の動向は続く。

		住関連専門店（広告企画担当）	・ひたすら低価格志向という風潮がなくなる限り、景気はよくなる。この業界では価格帯の限界がきている。粗悪な安物をそれらしく見せて販売するしか生き残る方法がないような状態なので、まだまだ悪くなる。
		一般レストラン（店長）	・我々外食産業にとっては、人員募集が難しいところだが、最近は募集を出さなくても集まってくる。また、客の来店頻度は減少傾向が続く。
		美容室（経営者）	・景気が悪い話は良く聞こえてきて、見通しが立たないという話ばかりである。またサラリーマンからも、小遣いを減らされたという類の話しか聞こえてこず、良くなる様子はない。
		設計事務所（経営者）	・収入減少がこれからも止まらない。したがって新しい消費行動を起こすまで、まだまだ時間が掛かる。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・自動車業界の生産増に期待できる。
		化学工業（総務担当）	・納入先の在庫調整が進んでいる。
		鉄鋼業（総務担当）	・在庫調整進展により、稼働状況が前年比7～8割程度まで改善しており、なお改善基調にある。
		鉄鋼業（総務担当）	・在庫調整が進み、景気の底入れはしたと思われるが、大きな回復は見込めない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・エアコン、家電に加えて携帯関連も受注計画が上積みされ、増産傾向となっている。一時帰休、時間外ゼロで対応してきたが、今月から時間外を復活せざるを得ない状況となっている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・Vの字というわけにはいかないが、夏に向けて受注が増え始めている。ただし9月から先は不透明である。
	輸送業（運送担当）	・若干ではあるが取引している大手企業の工場の増床等明るい話題も見え始めている。緩やかではあるが良くなっていく。	
変わらない		非鉄金属製造業（経理担当）	・在庫調整の反動としての受注増は期待できるが、それを越えた需要増の動きは見えない。
		金属製品製造業（総務担当）	・得意先へ営業活動を行っても、案件の絶対数が不足しており、受注に結びつかない。新規開拓にも取り組んでいるが、即効性は期待できない。景気が改善されるのは、早くて年末辺りである。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・受注が回復する兆しが見受けられない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・9月まで臨時休業が続けざるを得ない状況が続く。
		建設業（経営者）	・取引のある他の業種も良くなる気配はないが、ひどく悪くなる様子もない。2～3か月はこのままで推移する。
		通信業（営業企画担当）	・具体的な設備投資の商談は、現時点では検討段階のものがほとんどであり、現状の景気から大幅な変化が見込めない。
		金融業（営業担当）	・地場の企業の社長などと話していても、精神的に底を打ったという雰囲気はあるが、年内については仕事が全くない状況は変わらない。特に土木建築や設備工事などでは仕事は全くない状況が続く。
		金融業（業界情報担当）	・依然として低水準ではあるが、エコカーの好調な売行きが下支えとなり、生産は緩やかに回復する。
		会計事務所（職員）	・一部製造業においては、夏場以降に向けての見積が徐々に入ってきているが、契約成立に結びつくまでには至っていない。また、燃料費がじわじわと上昇してきており、全般的なコストアップにつながる懸念がある。
やや悪くなる		食料品製造業（総務担当）	・夏商戦で中元などが始まるが、客は購入を渋っており、ここ2～3か月は前年のような伸びは期待できない。ただし秋になれば新商品が発売され、伸びが期待できる。
		窯業・土石製品製造業（総経理担当）	・6月生産には工事案件が多く含まれており、この案件が終了する7月以降、当月並みの生産は確保できない。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内、海外共に、市場の冷え込みによる自社製品の売上の悪化が続く。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・親会社からの受注が取れていない。また現在受注しているものについても、いつキャンセルが出ても不思議ではない状況にある。
悪くなる		食料品製造業（業務担当）	・景気対策効果も一巡して、消費者の安値志向もあり、各社とも体力勝負となり、独自性のある商品以外は値下げするしかない状況となる。今後、再び材料高の流れがくれば、収益は更に悪化する。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・消費動向の低迷の継続が予測される。

雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社（担当者）	・採用に関する企業の動きが、ほとんど停止している。また、各業種でのヒアリングにおいても、受注状況は一時期よりは少し戻ったが、上向きになる動きはないというコメントがほとんどである。
		人材派遣会社（営業担当）	・例年であれば6月は受注量が増加するが、今年は5月から6月にかけて受注は横ばい、かつ前年の半数程度であり、これからの急激な回復も難しい。
		職業安定所（職員）	・求人募集は必要最小限の欠員補充が精一杯で、採用のチャンスと捉えている企業はない。毎年新卒者の採用を継続している企業でも、来春の卒業予定者の採用については計画が立たないとの話も多く聞かれる。
		職業安定所（職員）	・企業の業況では、景気が底を打ったという報道があるものの、地方では「そういう感じはないし、見通しも立たない」などの声が多いため、まだしばらくは現在の悪い状況が続く。
		職業安定所（職員）	・休業による雇用調整は落ち着いたようであったが、零細企業に影響が出始めており、新たな休業開始の相談が多くなっている。
		職業安定所（雇用開発担当）	・助成金を活用しての雇用調整（休業・教育訓練）の規模に縮小傾向は見られない。むしろ製造業から建設業、運輸業への広がりが顕著である。
		民間職業紹介機関（職員）	・景気は底を打ったとはいわれるが、どこも既存社員で十分対応できるだけのビジネスボリュームであり、人余り感は依然残ったまま推移する。また、統廃合、合併等の話を数社から耳にしており、そうなればまた人員削減が始まり、失業者は増える一方となるが、受け入れ先がない状態は変わらない。
		民間職業紹介機関（職員）	・雇用情勢は、稼働率向上を考えている企業が出始めるなど若年層の求人は多少上がる可能性があるが、40～50歳代にとっての雇用情勢はむしろ厳しさを増していく。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・求人数が前年度に比べ減少傾向にある。また、増加する要素も見られない。	
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（担当者）	・来期の新卒採用計画に関して、予算的に現状維持か減少の意思表示をしている企業が多い。
	悪くなる		